

# 平成20年3月期 中間決算説明会

日時：平成19年11月16日（金）



社会とくらしのパートナー  
～エネルギーと共に・車と共に・家庭と共に～  
**伊藤忠エネクス**

# 中間期の業績

---

## 【発表者】

取締役(兼)常務執行役員  
CFO

有満 修司



# 中間期の業績

---

## *【CONTENTS】*

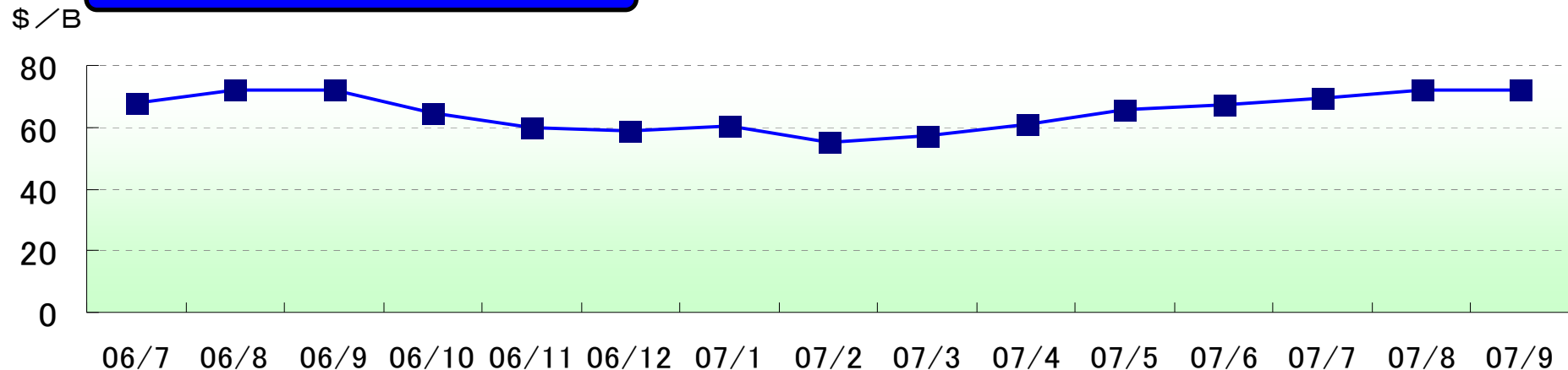
上期の業界環境	p4
平成20年3月期中間決算概要	p5
連結貸借対照表	p6
連結キャッシュ・フロー計算書	p7
有利子負債の推移(中間期)	p8
連結販売数量(主要6品目)	p9
セグメント別情報(連結)	p10
セグメント別情報(連結)(IM)	p11
セグメント別情報(連結)(CL)	p13
セグメント別情報(連結)(HL)	p15



# 上期の業界環境

1. 長期的な原油価格高騰により、小売価格への断続的な価格転嫁が続く
2. 消費者の節約志向をはじめとしたガソリン総需要の減少が続く
3. 企業における石油系燃料以外への燃料転換が加速

原油価格の推移(CIF価格) (ご参考)



財務省通関統計

# 平成20年3月期中間決算概要

(単位:百万円)

	平成19年3月期 中間実績	平成20年3月期 中間実績	増減率	平成20年3月期 中間予想値	予想比
売上高	419,645	481,928	14.8%	450,000	7.1%
営業利益	2,905	2,483	△14.5%	2,500	△0.7%
経常利益	3,297	2,935	△11.0%	2,800	4.8%
当期純利益	1,624	1,185	△27.0%	1,200	△1.2%

## POINT

【売上高】販売数量の増加、販売価格の上昇による

【営業利益】コスト転嫁に苦戦



期初予想に比して順調に推移



# 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	平成19年3月期末 実績	平成20年3月期中間期末 実績	増減額
流動資産	137,974	139,290	1,315
固定資産	97,875	98,441	565
流動負債	121,750	121,914	164
固定負債	31,750	32,524	773
少数株主持分	755	1,808	1,053
純資産	82,349	83,292	943
負債及び資産合計	235,850	237,732	1,881

## POINT

【流動資産】たな卸し資産の増加、売掛金及び未収入金の増加

【固定資産】有形固定資産増加

【流動負債】買掛金の増加

【固定負債】長期借入金増加、受入保証金の増加



# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	平成19年3月期中間 実績	平成20年3月期中間 実績	増減額
営業活動CF	△2,103	5,329	7,432
投資活動CF	△3,662	△3,109	553
財務活動CF	△1,503	△5,335	△3,832
現金及び現金同等物 の期末残高	19,563	30,413	10,850

【営業活動CF】営業活動による売買所要資金の減少等

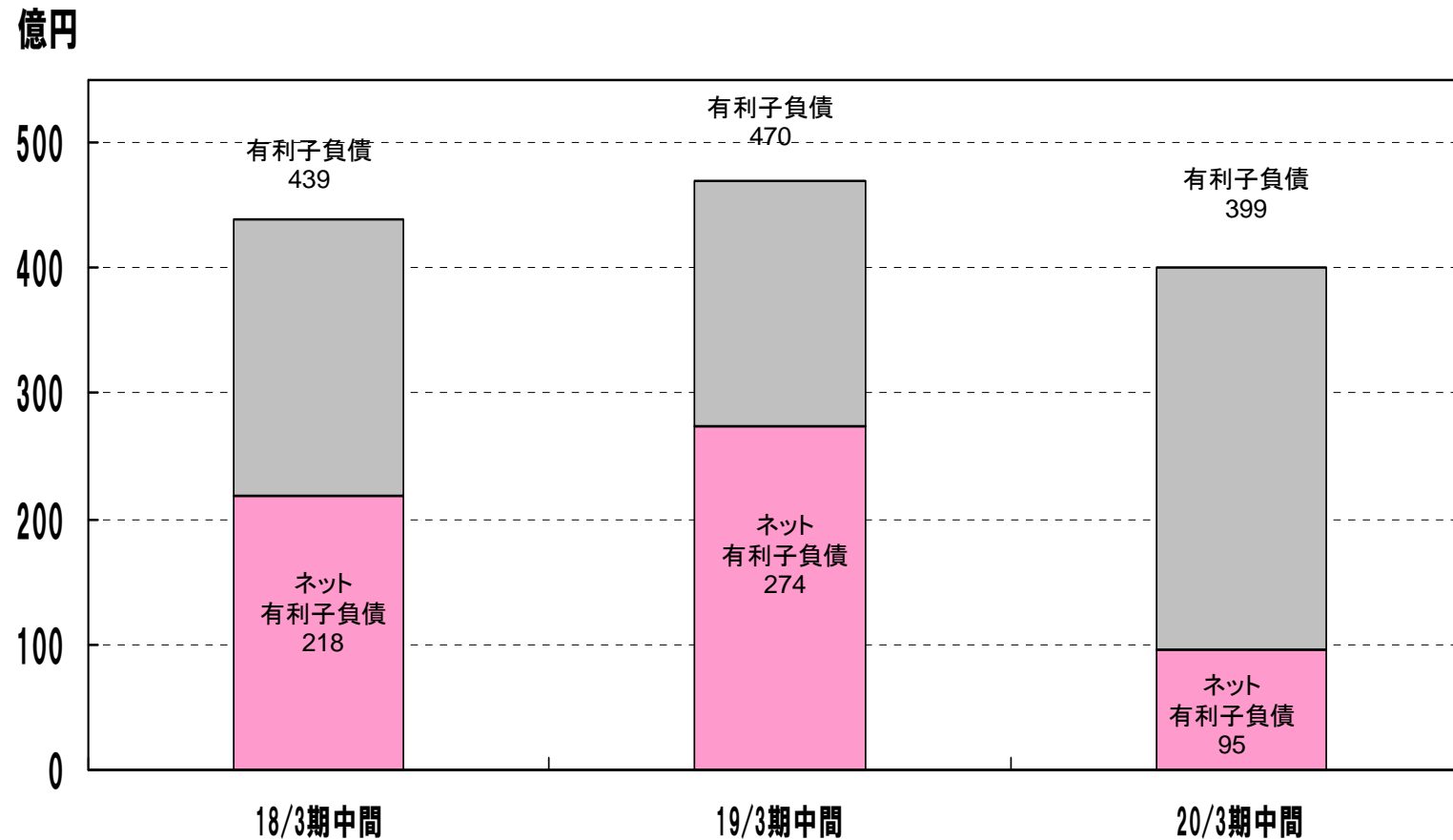
【投資活動CF】営業用設備増強及びのれんの取得、関係会社株式の購入等

【財務活動CF】余剰資金による有利子負債の返済及び配当金の支払等



# 有利子負債の推移(中間期)

～財務体質の健全化～



ご参考: 平成19年3月期有利子負債425億円(ネット有利子負債92億円)



# 連結販売数量(主要6品目)

(単位:千kl、千トン)

油種	平成19年3月期中間実績	平成20年3月期中間実績	増減率
ガソリン	1,568	1,853	18.2%
灯油	492	539	9.6%
軽油	1,243	1,378	10.9%
重油	904	1,000	10.6%
燃料油合計	4,207	4,770	13.4%
アスファルト	102	116	14.2%
LPガス	483	502	3.8%
総合計	4,792	5,388	12.4%

## POINT

- 【ガソリン】ヤナセ石油販売の上期分、伊藤忠エネルギー販売の子会社化などの拡大効果
- 【LPガス】九州地区最大のLPガス販売会社「エコア」設立効果
- 【アスファルト】流通網の整備拡充による面戦略効果



# セグメント別情報(連結)

## 産業マテリアル事業

(単位:百万円)

	18年度1Q	19年度1Q	増減率・額	18年度2Q	19年度2Q	増減率・額	18年度中間	19年度中間	増減率・額
売上高	27,083	28,077	3.7%	29,451	29,631	0.6%	56,534	57,709	2.1%
営業利益	391	271	△30.7%	462	452	△2.2%	853	723	△15.2%
投資額	100	42	△59	117	59	△58	222	102	△120
減価償却	53	57	4	48	64	16	102	121	19

## カーライフ事業

	18年度1Q	19年度1Q	増減率・額	18年度2Q	19年度2Q	増減率・額	18年度中間	19年度中間	増減率・額
売上高	150,991	180,060	19.3%	164,216	188,528	14.8%	315,207	368,588	16.9%
営業利益	924	1,036	12.1%	2,139	1,858	△13.1%	3,062	2,894	△5.5%
投資額	953	758	△195	1,660	1,049	△611	2,613	1,807	△806
減価償却	621	648	27	569	749	180	1,189	1,398	209

## ホームライフ事業

	18年度1Q	19年度1Q	増減率・額	18年度2Q	19年度2Q	増減率・額	18年度中間	19年度中間	増減率・額
売上高	24,160	28,611	18.4%	23,743	27,018	13.8%	47,903	55,630	16.1%
営業利益	469	260	△44.6%	40	311	780.0%	508	572	12.6%
投資額	455	389	△66	1,317	355	△962	1,771	745	△1,026
減価償却	605	410	△195	△11	274	285	594	684	90

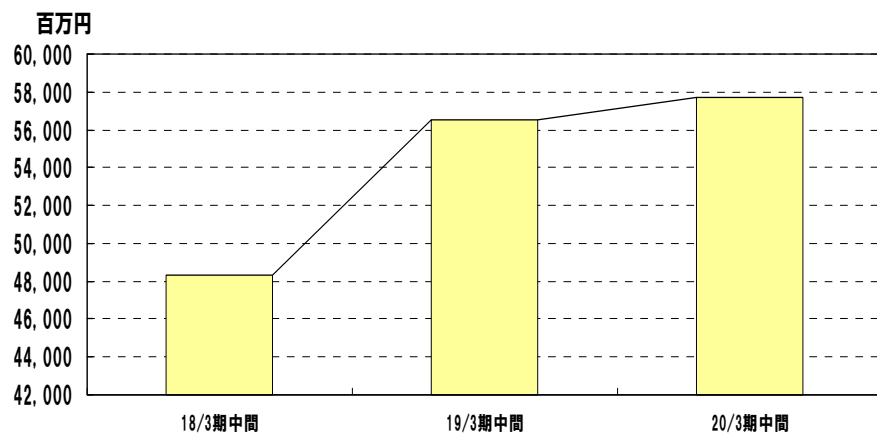


# セグメント別情報－産業マテリアル事業

(単位:百万円)

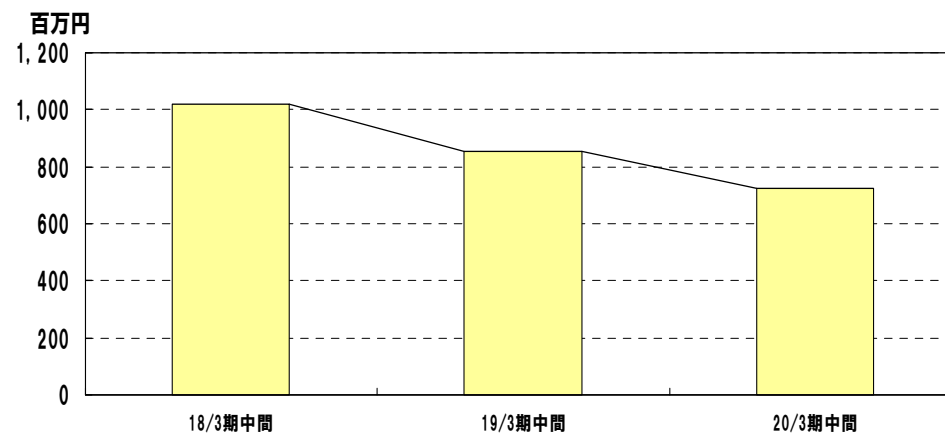
	平成18年3月期 中間実績	平成19年3月期 中間実績	平成20年3月期 中間実績	前 増	期 減	比 額	前 増	期 減	比 率
売上高	48,303	56,534	57,709			1,175			2.1%
営業利益	1,018	853	723			△130			△15.2%

中間期売上高の推移



ご参考:平成19年3月期通期産業マテリアル事業売上高 117,116百万円

中間期営業利益の推移



ご参考:平成19年3月期通期産業マテリアル事業営業利益 1,972百万円

# セグメント別情報－産業マテリアル事業 詳細

## 販売数量(連結)

(単位:千kl)

	平成19年3月期中間 販売数量実績	平成20年3月期中間 販売数量実績	増減率
軽油	143	162	13.3%
重油	437	424	△3.0%
アスファルト	102	116	14.2%

【軽油】法人向け燃料カード事業と大手物流会社への新規取引が順調

【重油】燃料転換、自家発停止等によるLSA重油、A重油の減少

【全燃料油】前期比101% バランスよく推移

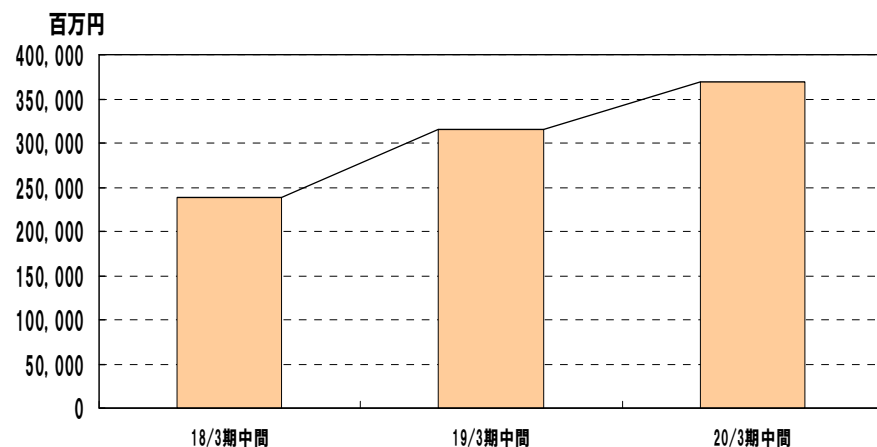


# セグメント別情報－カーライフ事業

(単位:百万円)

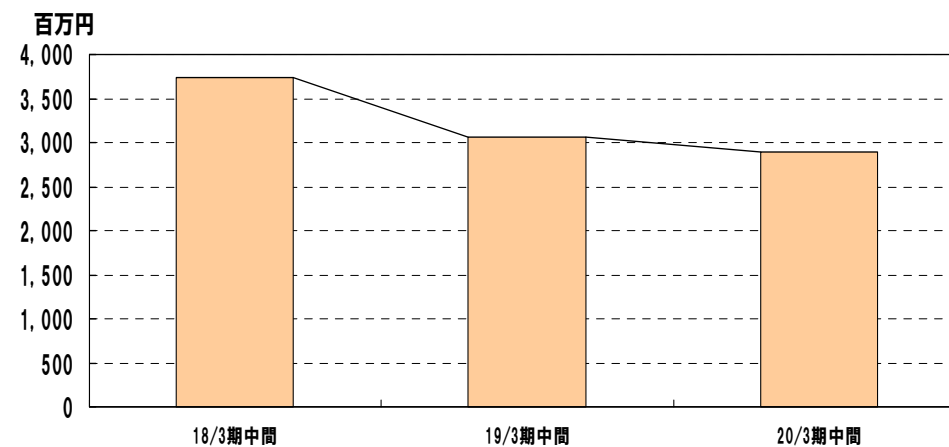
	平成18年3月期 中間実績	平成19年3月期 中間実績	平成20年3月期 中間実績	前 増	期 減	比 額	前 増	期 減	比 率
売上高	238,002	315,207	368,588			53,381			16.9%
営業利益	3,740	3,062	2,894			△168			△5.5%

中間期売上高の推移



ご参考:平成19年3月期通期産業カーライフ事業売上高 665,332百万円

中間期営業利益の推移



ご参考:平成19年3月期通期カーライフ事業営業利益 7,375百万円

# セグメント別情報－カーライフ事業 詳細

## 販売数量(連結)

(単位:千kl)

	平成19年3月期中間 販売数量実績	平成20年3月期中間 販売数量実績	増減率
ガソリン	1,547	1,832	18.4%
灯油	388	445	14.7%
軽油	1,098	1,214	10.6%
重油	463	570	23.1%

【全燃料油】前期比137%と絶好調

## 販売施設数(連結)

(単位:カ所)

	平成19年3月期末実績	平成20年3月期中間実績	前期末比
給油所	2,189	2,184	△5
給油所増減内訳	161SS増 129SS減	65SS増 70SS減	—
(内、PB)	419	410	△9
(内、セルフ)	385	427	42

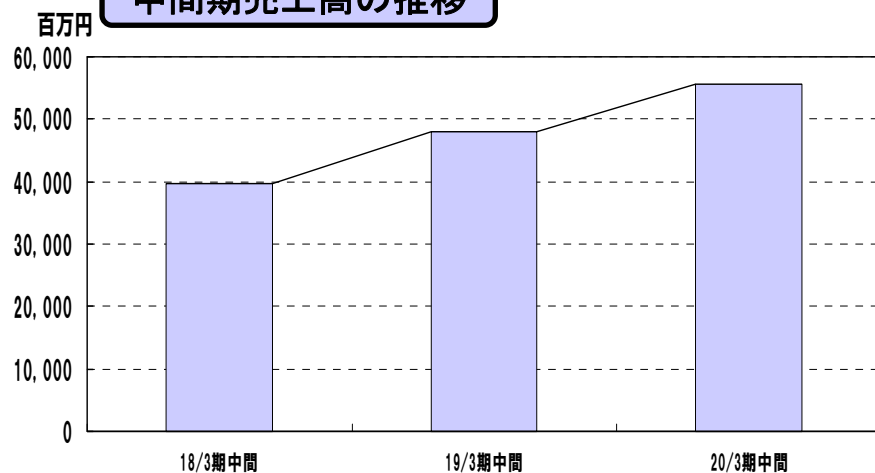


# セグメント別情報－ホームライフ事業

(単位: 百万円)

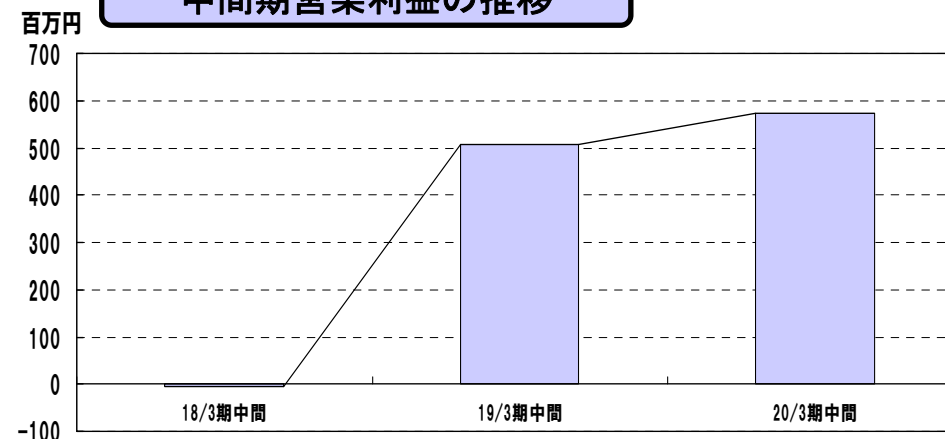
	平成18年3月期 中間実績	平成19年3月期 中間実績	平成20年3月期 中間実績	前 増	期 減	比 額	前 増	期 減	比 率
売上高	39,737	47,903	55,630			7,727			16.1%
営業利益	△5	508	572			64			12.6%

中間期売上高の推移



ご参考: 平成19年3月期通期ホームライフ事業売上高104,035百万円

中間期営業利益の推移



ご参考: 平成19年3月期通期ホームライフ事業営業利益 2,042百万円

# セグメント別情報ーホームライフ事業 詳細

## 販売数量(連結)

(単位:千トン)

	平成19年3月期中間 販売数量実績	平成20年3月期中間 販売数量実績	増減率
L P ガス	429	455	6.0%

## LPガス消費者軒数

(単位:軒)

	平成19年3期末実績	平成20年3期中間実績	前期末比
直売軒数	285,893	329,110	43,217

販売数量、消費者軒数ともにエコア効果による





# 通期の見通し

---

## 【発表者】

代表取締役社長

小寺 明



# 通期の見通し

---

## 【CONTENTS】

業界の環境見通し	p19
平成20年3月期通期連結業績見通し	p20
平成19年度重点項目&Commitment	p21
質的改善を伴う量的拡大	p22
主要6品目合計の連結販売数量見通し	p23
経費削減と収益力	p24
産業マテリアル事業の通期見通し	p25
カーライフ事業の通期見通し	p26
ホームライフ事業の通期見通し	p27
株主還元策	p28
株主資本の強化	p29
伊藤忠エネクスグループの危機意識	p30
ご注意および問い合わせ先	p31

# 業界の環境見通し

---

## 【石油流通業界】

- 燃料転換による石油依存への低減
- 原油高による販売価格の上昇
- 低燃費車の増加などによる需要下降時代⇒「量から質」への本腰
- 新エネルギーへの対応
- 国内需要の低迷による輸出などの海外展開

## 【LPガス流通業界】

- 輸入価格の高騰
- エネルギー(電力、都市ガス)間の競争
- 業界の再編加速



# 平成20年3月期 通期連結業績見通し

## 公表数値の必達！

(単位:百万円)

	平成20年3月期 中間実績	平成20年3月期 見通し	前下期比増減	平成20年3月期 計画
売上高	481,928	498,072	31,234	980,000
営業利益	2,483	7,717	2,688	10,200
当期純利益	1,185	4,015	652	5,200

※上記の予想は、今後の様々な要因によって実際の業績と若干異なる可能性があります。

## 通期業績予想は期初の計画通り



# 平成19年度 重点項目 & Commitment

**3期連続の増収増益  
営業利益102億円**

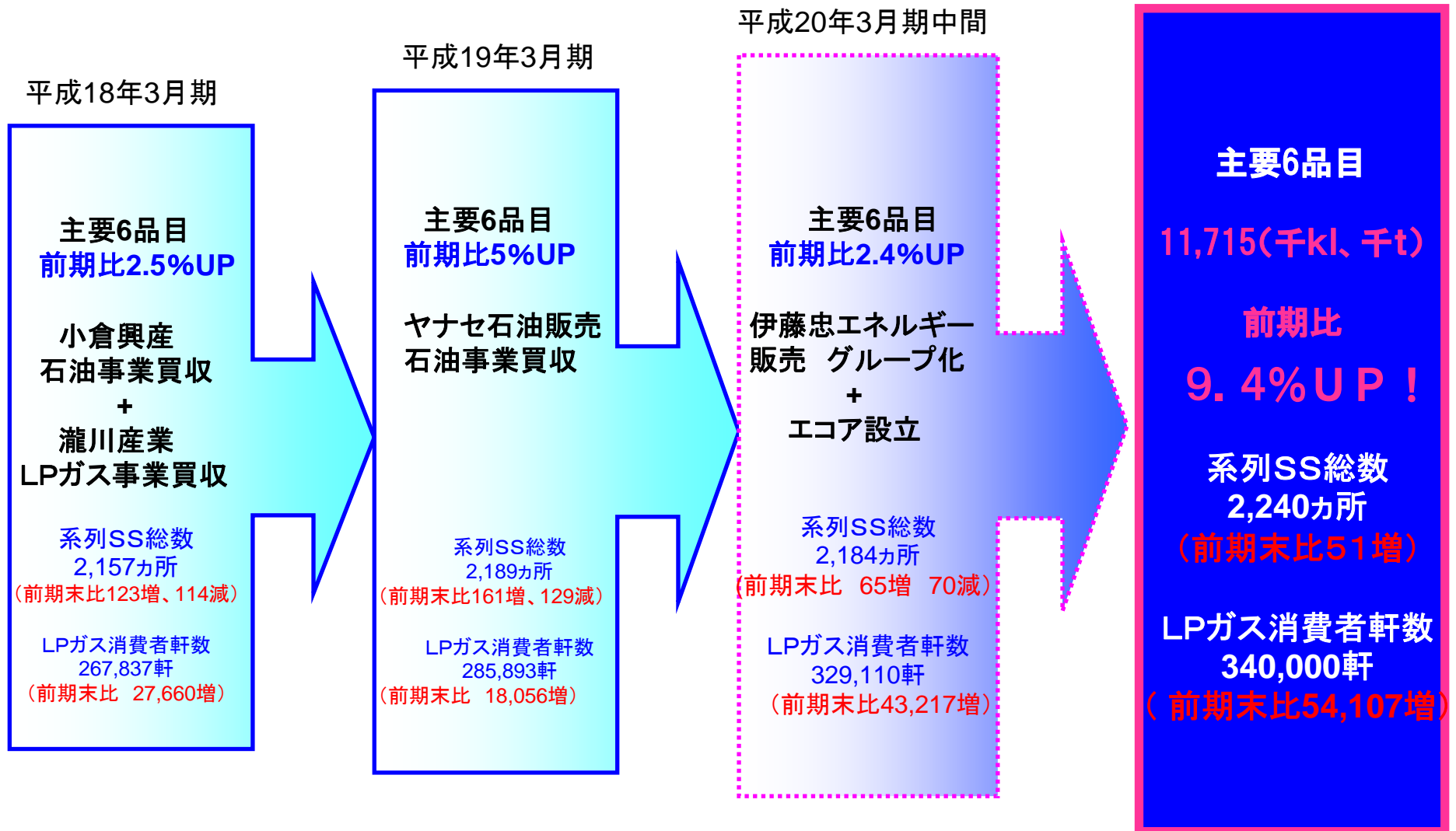
1. 質的改善を伴う量的拡大
2. グループ力の結集と融合
3. 新たな利益の柱の創造
4. 業務の見直しとリスク管理の徹底
5. コンプライアンス機能の強化

**Local & Global**



# 質的改善を伴う量的拡大

平成20年3月期(予)

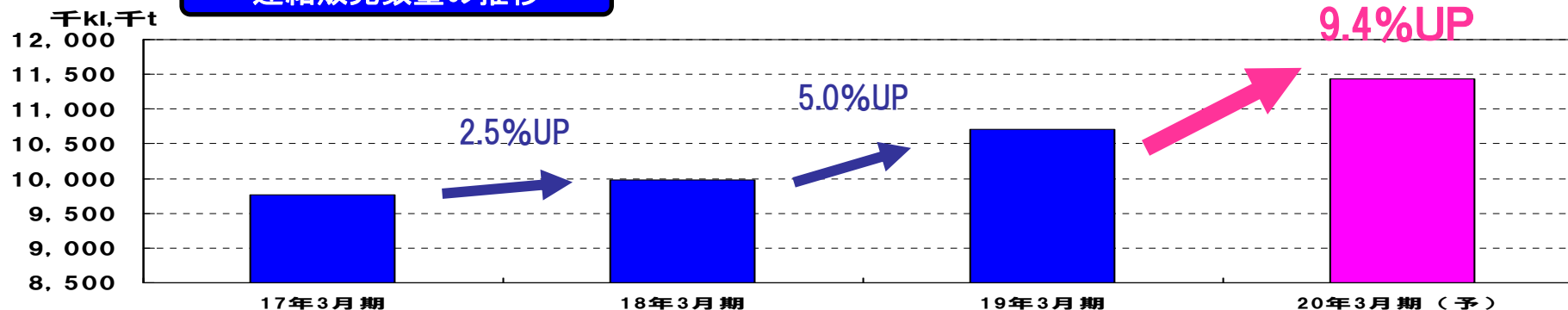


# 主要6品目合計の連結販売数量見通し

(単位:千kl,千トン)

油種	平成20年 3月期 中間実績	前期比	平成20年 3月期下期 見通し	前下期比 増減	平成20年 3月期 計画	
ガソリン	1,853	118.2%	1,847	253	3,700	ヤナセ石油+伊藤忠エネルギー販売 効果
灯油	539	109.6%	1,261	20	1,800	ヤナセ石油+伊藤忠エネルギー販売 効果
軽油	1,378	110.9%	1,422	34	2,800	上記+大手物流会社への増販 効果
重油	1,000	110.5%	1,100	74	2,100	上記+船油(A・C重油)の増販 効果
アスファルト	116	114.2%	159	△9	275	タンクオペレーション(面戦略) 効果
LPガス	502	103.8%	538	34	1,040	エコア 効果
総合計	5,388	112.4%	6,327	406	11,715	全ての取扱い石油製品において増加計画

連結販売数量の推移



# 経費削減と収益力

(単位:百万円)

	平成19年3月期 実績	平成20年3月期 中間実績	平成20年3月期 下見 通し	前下期比増減	平成20年3月期 計 画
売上総利益	62,815	30,661	39,339	5,686	70,000
販管費	54,880	28,178	31,622	2,999	59,800
営業利益	7,934	2,483	7,717	2,688	10,200

需要期である下期にコスト  
を抑え、販売量増加による  
適正利幅を確保！

営業利益の増加へ



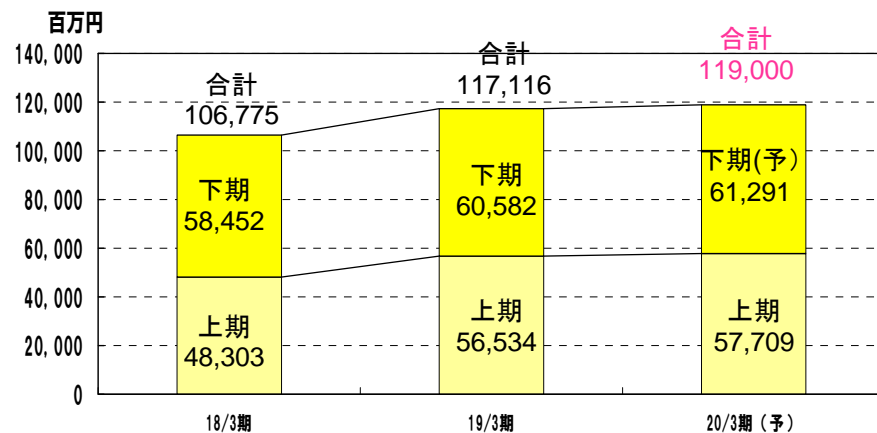


# 産業マテリアル事業の通期見通し

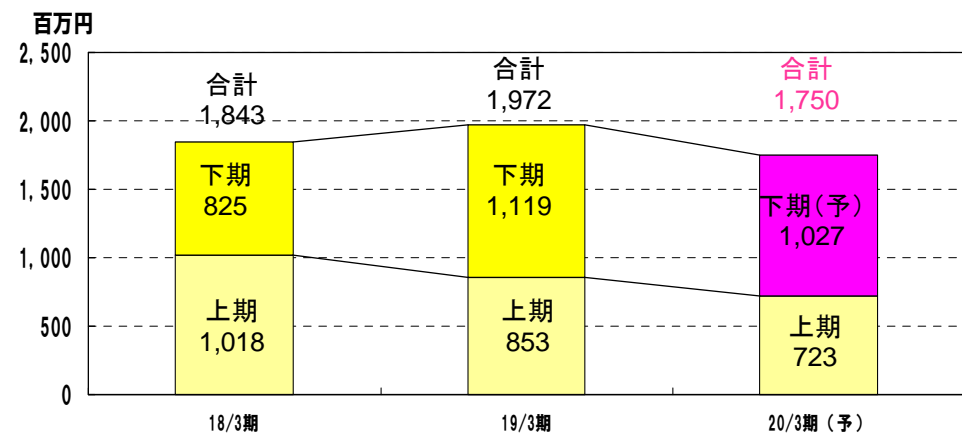
(単位: 百万円)

	平成20年3月期中間実績	平成20年3月期下期見通し	前下期比増減	平成20年3月期計画
売上高	57,709	61,291	709	119,000
営業利益	723	1,027	△92	1,750

## 売上高



## 営業利益



### 【営業利益達成要因】 前下期比92百万円減少

- 大手物流会社へのインタンク軽油ビジネス
- 内航船向け船油(A・C重油)ビジネス
- アスファルトのタンクオペレーション(面戦略)

の強化

前下期比減益も  
通期計画はクリア

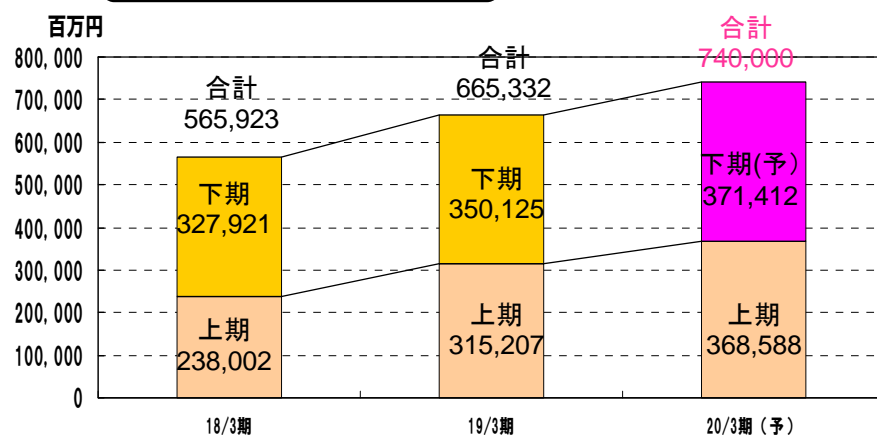


# カーライフ事業の通期見通し

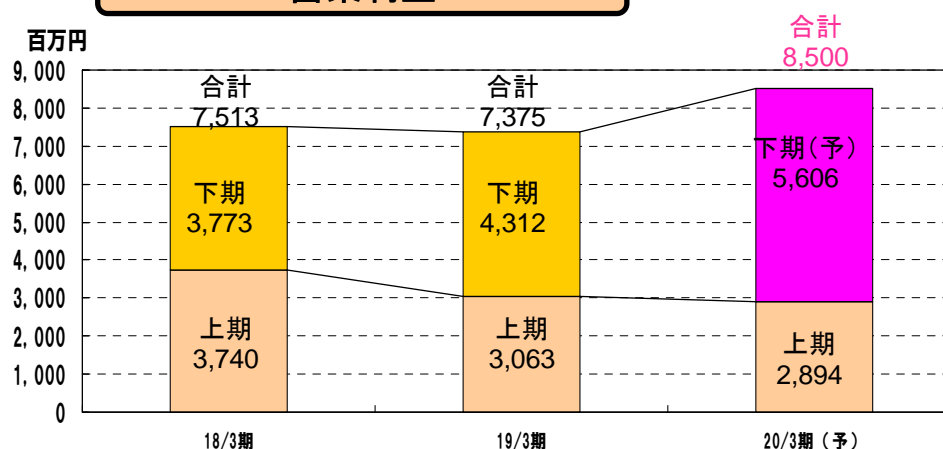
(単位: 百万円)

	平成20年3月期中間実績	平成20年3月期下期見通し	前下期比増減	平成20年3月期計画
売上高	368,588	371,412	21,287	740,000
営業利益	2,894	5,606	1,294	8,500

売上高



営業利益



## 【営業利益の達成要因】 前下期比1,300百万円増加

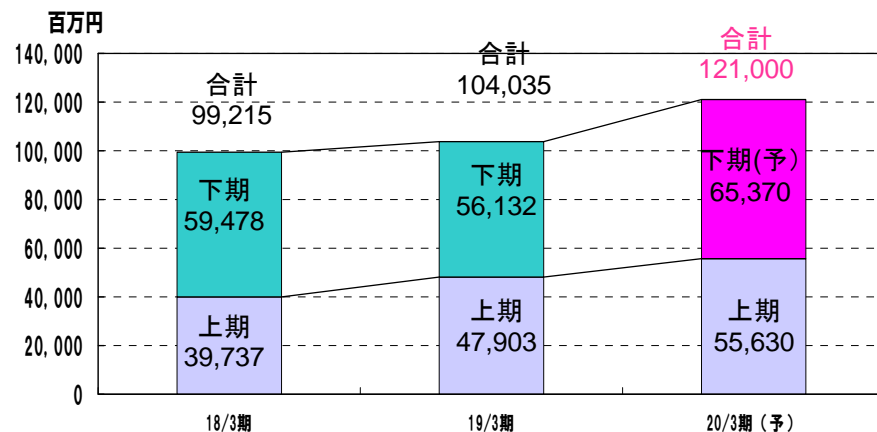
- 伊藤忠エネルギー販売のグループ化による貢献で100百万円の増加
- 新規系列化による「質的改善を伴う量的拡大」での増販効果で800百万円の増加
- 関連会社を含めた適正利幅の改善で200百万円の増加
- 連結で200百万円のコスト削減

# ホームライフ事業の通期見通し

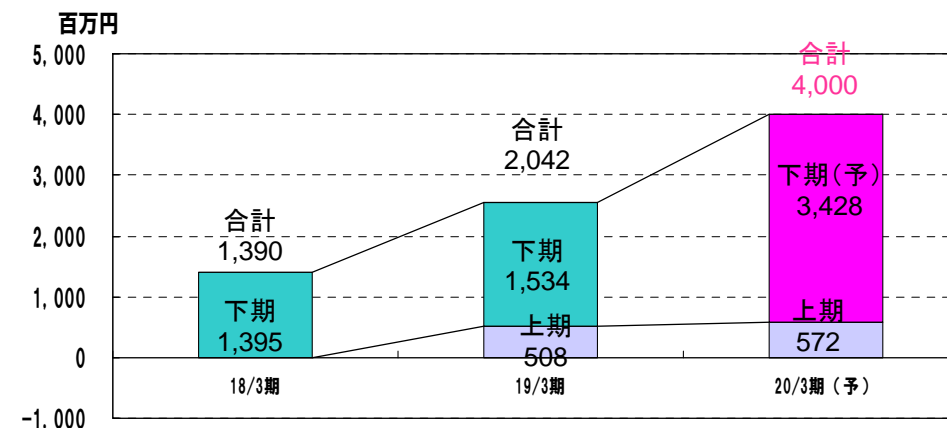
(単位:百万円)

	平成20年3月期中間実績	平成20年3月期下期見通し	前下期比増減	平成20年3月期計画
売上高	55,630	65,370	9,238	121,000
営業利益	572	3,428	1,894	4,000

## 売上高



## 営業利益



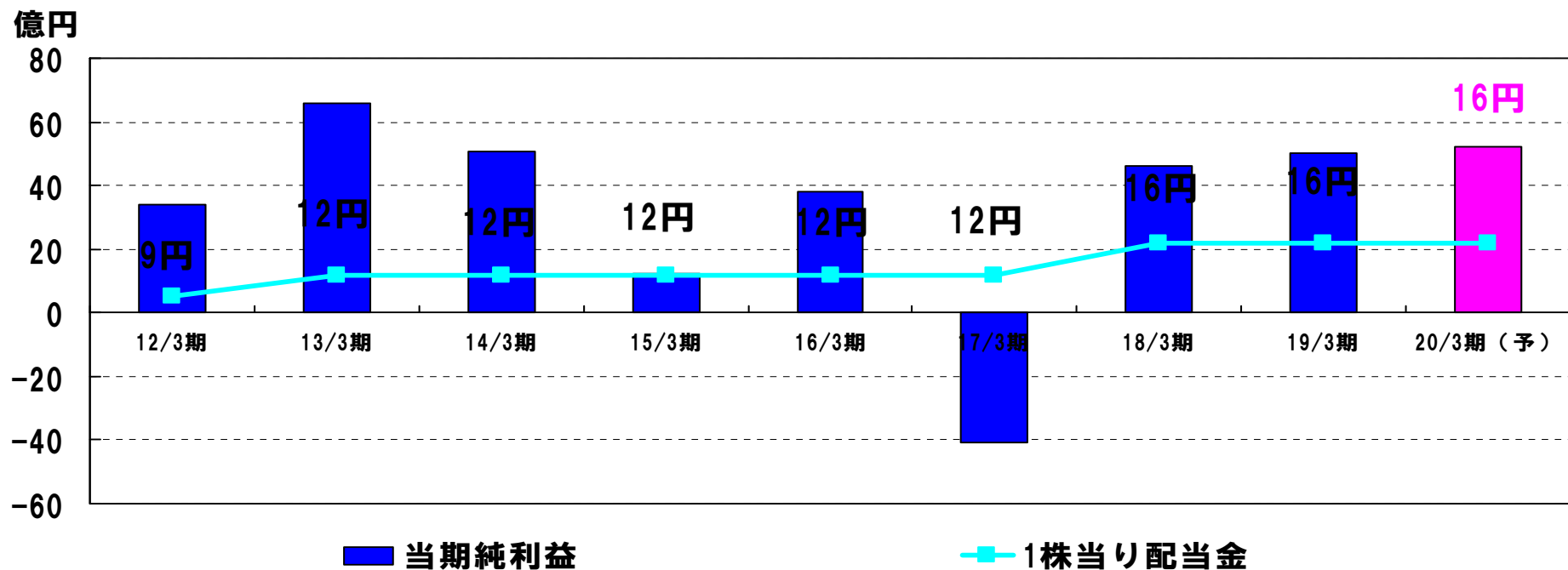
### 【営業利益の達成要因】 前下期比1,900百万円増加

- エコア効果・・・下期販売数量8万トン増加、営業利益900百万円増加
- 「原料費調整制度」をスタートし、コスト変動を迅速かつ正確に反映  
→ 利幅改善とコスト削減効果で1,000百万円増加



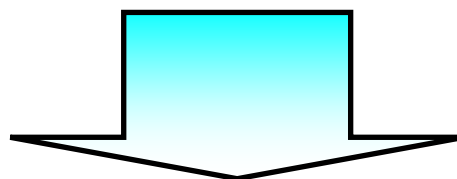
# 株主還元策

- 配当性向30%程度を目処とした安定配当。
- 半期ごとの配当実施～中間8円、年間16円(予定)。



# 株主資本の強化

	平成19年3月期 実績	平成20年3月期中間 実績	平成20年3月期 計画
1株あたり 純資産	889.52 円	888.28 円	930 円以上
連結純資産	82,349 百万円	83,292 百万円	85,000 百万円以上
自己資本比率	34.6%	34.3%	36%以上
株価	892 円	778 円	↗



市場から評価される企業構造へ



# 伊藤忠エネクスグループの危機意識

---

## 【危険物の取扱い】

- 法令遵守、環境保全、保安点検

## 【エネルギー業界の構造改革のスピードアップ】

- 川上から川下までのうねりの狭間に位置

## 【グローバル経済が主役】

- 国内商売ONLYの限界

グループ全社で  
**危機感**を**共有**して

Local & Global



# ご清聴ありがとうございました

---

## ご注意

- 資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。
- また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

## 問い合わせ先

伊藤忠エネクス株式会社 IR広報室 高橋

TEL03-5436-9356 FAX03-5436-8235

 [enex\\_irpr@itcenex.com](mailto:enex_irpr@itcenex.com)

